



インタビュー企画

今回は、発達障害コミュニケーション上級指導者とコミュニケーション検定1級取得者の方へのインタビューを掲載いたします。ぜひ、資格取得の参考にしてみてください!



コミュニケーション検定1級取得者

白井千代様

Q1 コミュニケーション検定講習会に参加したきっかけは何ですか

トラウマを抱え辛く苦しんでいた息子に、親として何とかしてあげたい!と思っていました。外に出て通院することが難しい時もあり、家庭で日々の関わりで、心を癒やすことが出来るならば...とわらにもすがる想いでした。

Q2 1級資格を取得しようとした理由は、何ですか、モチベーションは何でしたか

親御さん達の学ぶ習慣がない地域で、親の会を主宰していたので、周りへ説得力を持って認知される為上位資格が必要でした。学びを進めると、私自身が変化した実感があり、息子にも良い変化が起きたことです。

Q3 1級講座の内容で、いちばん印象に残っているものは何ですか

PCW。人の膠着状態の思考を一気に解放させるユーモアの力に感動しました。経験は人の心をふくよかにする...:自分の中にストッパーを勝手に設けず、色々な事に挑戦したい!と強く思いました。

Q4 資格を日常生活や仕事にどう生かしていますか

職場の発達特性を持つ方の指導や、同じ部署で働く仲間をチームとして、その人らしく気持ちよく働けるような場づくりを心がけています。近隣市町村での講師

活動も増えており、協会認定講師としての活動も開始しました。

Q5 資格を取得したことで、日常生活や仕事をする上で、何か(どんな)変化がありましたか

身近な地域で、コミュニケーションの学びを提供しています。親御さん達が積極的に学んでみようとする人が増えました。講師の依頼も増え、親も学んだ先に活躍できる場がある事が周りの人への気づきになりました。

初回講座受講時の職種:無職
現在の職種:サービス業(留学生の寮) / 親の会主宰

Q6 学び続けるにあたって、どのように資金・受講計画を立てていましたか、工夫したこと等ありましたら教えてください

資金よりも、受講時の父子の食事の確保:最初は献立表を準備、次は選択性、次は自力確保を入れる等、スモールステップで準備をしていき自分で出来る食事作りを目指しました。(母が居ないことは自立にも繋がりました。)

Q7 有効期限内(5年間)に学ばれた再受講講座や他の講座で、どのような気づきがありましたか

コロナ禍のオンラインが学びの機会を増やしました。一緒に学ぶ仲間の、お互いの出して褒めたり、小さな声で話し掛けたりして、子供とのコミュニケーションをとっています。

Q8 資格を取得したことで、仕事をする上で何か(どんな)変化がありましたか

発達障害を持つ子供の指導に困っている教員へのアドバイスができるため、職場で頼りにされるようになりました。また、ラポールの形成を生かして保護者と面談できたため、信頼を得られるようになりました。



発達障害コミュニケーション上級指導者

松野 亜寿華 様

Q1 発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加したきっかけは何ですか

K'sクラブサロンの事例検討会に参加したことがきっかけです。河野先生から学べば、支援級の担任として必要な知識やスキルを習得できると思い、発達障害コミュニケーション初級指導者講習会に参加しました。

Q2 初級・中級と学ばれて、更に上級指導者資格を取得しようとした理由やモチベーションは何でしたか

初級・中級で学んだことが、支援級の担任として発達障害を持つ子供への指導にとても役立ちました。その効果が素晴らしかったため、更に上級指導者資格を取得しようと考えました。

Q3 上級講座の内容でいちばん印象に残っているものは何ですか

河野先生の「発達障害児者の支援に必要なカウンセリングマインド」の講座です。「優位性を用いた指導」を学級の子供に試し、視覚・聴覚・体感覚の特徴を生かして、支援をすることができ、大変効果的でした。

Q4 資格を仕事にどう生かしていますか

支援級担任として、「優位性を用いた指導」を行っています。さらに、非言語コミュニケーションを使い、グーサインを

成長を感じることが出来ました。同じテーマでも講師の先生によって扱う場面が違うことで疑問が出来、深い学びになりました。

Q5 AMWECのコミュニケーション検定講座を学び続けていちばんよかったことは何ですか

自らの欲する処に従い学び続け、私が変わっていく姿が息子の挑戦する気持ちに飛躍させました。心を閉ざしていた息子が知り合いを訪ね、海外ひとり旅に出る様に。人と関わりたいと思うようになってくれたことです。

Q6 コミュニケーションについて、これから学びたいことは何ですか

仏教の教えと人の繋がりに興味があります。他には、どんなに過酷な中でも逞しさとユーモアを忘れない生き方、スラム街で生きる力を支える活動をされている...私のモデリングの対象に現地に会いに行きます。

Q7 1級講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

『学ぶことは変わる』今それを実感しています。親が学び、親自身が変化していく様は、側で見ている子どもを、きつと大きく成長させるきっかけになることでしょう。

Q8 資格を今後どんな人に取得してほしいですか

教師、保育士、医師、看護師、福祉の業界で働く方、発達障害を持つ子の保護者に取得してほしいです。教師の中でも発達障害について十分に理解されている方は一部です。全ての教員に必要な資格だと思えます。

Q9 発達障害について、これから学びたいことは何ですか

学校と医療、福祉との連携の仕方です。私は、医師に向けて情報提供書を書いたり、同行受診を行ったりしてきました。学校によっては、それらを全く行いません。連携のシステムを作っていけたらと思います。

Q10 上級指導者講座を今後学んでみたい方へひとことお願いします

河野先生から専門的な知識やスキルを学ぶことで、自分の力が上がります。根拠を持って、発達障害を持つ子供たちへの支援ができるため、子供たちはぐんぐん成長します。この喜びを共に味わいたいです。